

孤独・孤立による不安や悩みの深刻化を予防するため、スマホ・パソコン等から、
子供や子育て家庭が日常的な不安や悩みをチャットで気軽に相談できる環境を整備

対象者：・都内在住・在勤・在学の学齢期から18歳までの子供本人
・妊娠期から18歳までの子供を育てる保護者
相談時間：15時00分～24時00分
相談相手：心理士、看護師・保健師、保育士、社会福祉士、元教員、大学院生等



- 令和8年度中に日中の相談回線の増加及び夜間の相談時間を24時まで延長し、子供や子育て家庭が多様な相談相手と気軽につながり、悩みや不安を継続して対話できる体制を強化
- 必要に応じて専門機関等を案内することで、各局の相談窓口や専門機関と連携した総合的な相談環境を実現

子供・子育てメンター“ギョツとチャット”

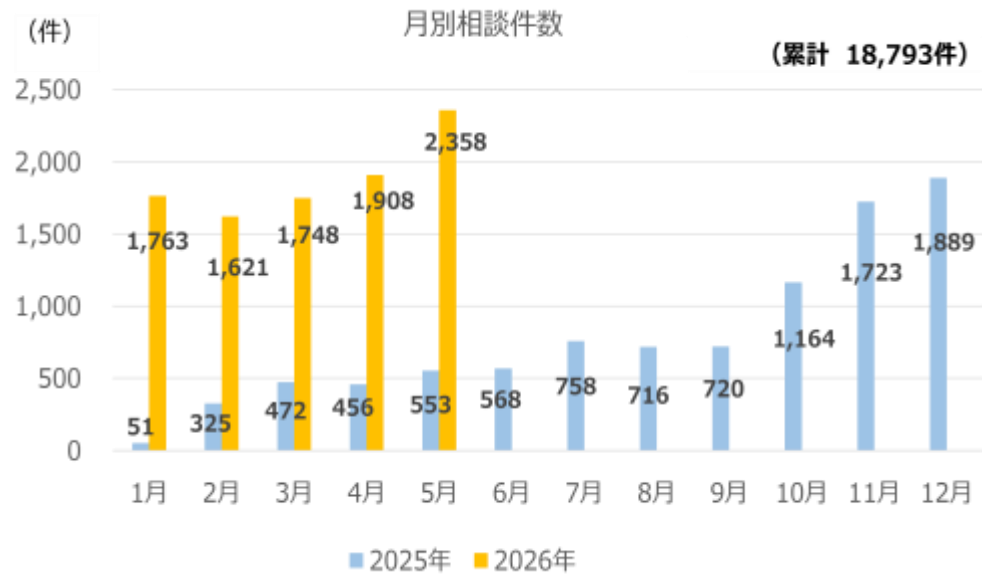
子供や子育て家庭が日常的な不安や悩みを気軽に話せる無料の相談チャット

ライフステージに応じた子供・保護者の不安や悩みをシームレスに受け止め

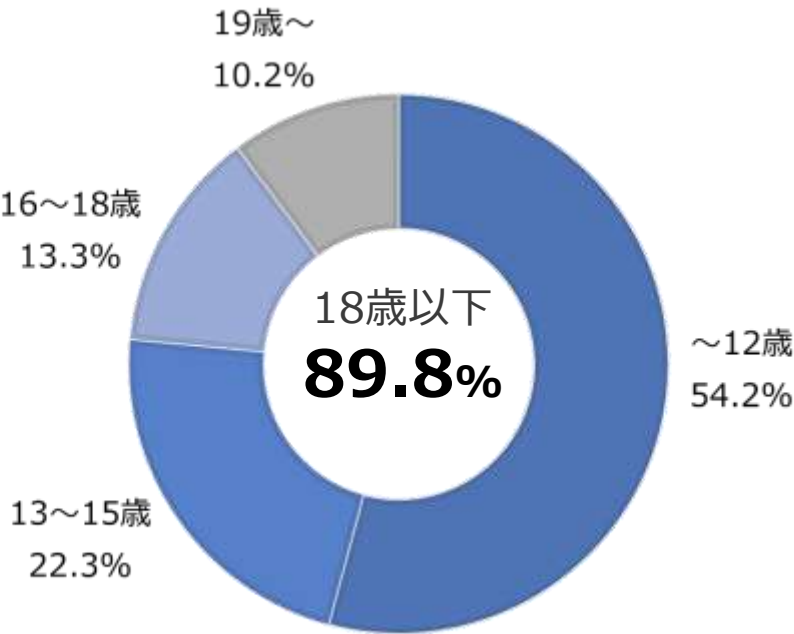


子供・子育てメンター“ギョツとチャット”の相談実績（2025年1月～2026年5月）

相談件数



相談者の年齢



相談内容

	小学生年代	中高生年代	保護者
1 位	学校生活 (26.4%)	心身の健康 (16.1%)	子育て (49.5%)
2 位	家庭環境 (14.6%)	学校生活 (14.8%)	家庭環境 (13.1%)
3 位	人間関係(12.8%)	雑談 (13.7%)	恋愛(8.0%)

子供・子育てメンター“ギョツとチャット”に関する広報について

こども未来アクション2026（P.94）

ギョツとチャットの戦略的広報を展開（子供・子育てメンター“ギョツとチャット”／子供政策連携室） 拡

相談体制 強化

認知度 向上

アクセス 経路拡充

- 小学生、中学生、保護者などの対象に合わせた広報コンテンツと各種広報媒体を効果的に組み合わせ、幅広く認知度を拡大
- 通年のWeb広告に加え、不安が高まりやすい長期休業の前後には広告配信を強化するとともに、デジタルサイネージも活用した集中的な広報を展開

中高生とつながる広報（子供・子育てメンター“ギョツとチャット”／子供政策連携室） 新

相談体制 強化

認知度 向上

アクセス 経路拡充

- ギョツとチャットのマスコットキャラクター「ギョッぴい」と中高生に人気のキャラクターによるPR動画等を制作し、悩みを一人で抱え込みやすい中高生に向けた訴求を強化
- 「東京都こどもホームページ」や「Tokyo中高生Webサイト」、各局のウェブサイトと連携して、子供がギョツとチャットへアクセスしやすい経路を拡大

「Tokyo中高生Webサイト」を活用したPR ▶



子育て世代とつながる広報（子供・子育てメンター“ギョツとチャット”／子供政策連携室） 新

相談体制 強化

認知度 向上

アクセス 経路拡充

- 先輩パパママとして活躍中の著名人をアンバサダーに任命。子育ての悩みに関する自らの体験談を発信するなど、子育て世代とのつながりを強化
- 子育てインフルエンサーが子育ての悩みを「ギョツとチャット」に相談した体験をInstagramや育児アプリ等で配信し、子育て世代の共感を醸成
- 東京都出産・子育て応援事業～赤ちゃんファースト～や区市町村事業と連携し、妊産婦や子育て世帯に着実に伝わる広報を展開

デジタルネイティブ子育て世代に“ギョツとチャット”を広く週及

アンバサダーを活用した認知度向上

- 先輩パパママとして活躍中の著名人を任命
子育て世代の抱える悩みを広く募集し、
自らの体験談を発信
➔ SNS等を通じて、子育て世代とのつながりを強化



子育てインフルエンサーを活用した情報発信

妊娠中の心身の変化、子供の進路や親子関係など、
子供の成長発達に応じたリアルで等身大の悩みについて、
実際に“ギョツとチャット”を使って相談

- ➔ 相談体験をInstagramや育児アプリ等を通じて配信
子育て世代の共感を醸成



LINEスタンプの作成・配布

赤ちゃんファーストや
区市町村母子保健部門と連携
➔ 「ギョツとチャット」とつながる環境を創出



子供・子育てメンター“ギュッとチャット”に関する広報について

▼小学生向けリーフレット



▼中高生向けリーフレット



▼保護者向けリーフレット



▼中高生向けコンテンツ



▼多言語リーフレット（英語・中国語・韓国語）

